

2025 年度 飛騨古川 U-13 交流大会
飛騨古川フレッシュ審判員スクール研修会 報告書

(公財)茨城県サッカー協会
3 級インストラクター 大内理央
3 級審判員 反田大翔



1.日程

2025 年 5 月 3 日(土)～2025 年 5 月 5 日(月) 2 泊 3 日

2.大会名

飛騨古川 U-13 サッカー大会(主催:愛知 FC)

3.会場

【実技】岐阜県飛騨古川ふれあい広場

【講義】旬菜の宿 季古里

4.参加者

審判員 11 名(茨城県 反田大翔)

インストラクター17 名(茨城県 大内理央)

5.研修会目的

若手審判員の発掘・育成

6.研修テーマ

「よい角度」とは

7.実技研修

1日2試合主審を担当

8.講義

5月3日(土)

- ①ご挨拶(愛知FA 審判委員会 小椋委員長)
- ②若手審判員へ向けてのメッセージ(JFA 審判部 秋江部長)
- ③競技規則テスト(愛知FA 2級インストラクター松尾氏)



JFA 審判部秋江部長からのメッセージ



競技規則テストの様子

5月4日(日)

- ①グループディスカッション:研修テーマ「よい角度」とは、について各グループより発表
- ②大会参加審判員への激励メッセージ(JFA 審判委員会 扇谷委員長)

「グループディスカッションの様子



「JFA 審判委員会扇谷委員長からの激励



9.研修会総括

【3級インストラクター 大内理央】(写真左から4人目)



このたび、愛知県サッカー協会との交流事業である「飛騨古川フレッシュ審判員スクール研修会」に参加させていただきました。

本研修会には、中学生から大学生まで計11名の審判員が参加し、実技・講義ともに前向きかつ主体的な姿勢で取り組んでいる様子が非常に印象的でした。

実技研修においては、自身の課題を的確に把握し、その解決に向けて試行錯誤を繰り返すことで、1日目と3日目では見違えるほどパフォーマンスが向上していました。

また、秋江 JFA 審判部長、扇谷 JFA 審判委員長による講話は、今後の審判人生に大きな影響を与える、非常に貴重な機会となったものと思います。

他県のインストラクターの皆様とともに研修を進める中で特に印象的だったのは、審判員の「気づき」を引き出す問いかけを重視されていたことです。

審判員が、どのような状況でどのような判断をしたのかを自ら整理できるよう促し、インストラクターはあくまでも見守る立場であることの重要性を実感いたしました。

つい指導的にアドバイスを与えがちな私にとって、大変学びの多い、意義深い研修となりました。

また、審判員とインストラクターが「一つのチーム」として大会に臨み、大会の成功を目指すという意識を、愛知県の皆様から強く感じることができました。

茨城においても、こうした姿勢がより醸成されていくよう、今回の経験を自県の活動に還元してまいりたいと考えております。

最後に、このような素晴らしい機会を与えてくださった愛知県サッカー協会、茨城県サッカー協会の皆様に、心より感謝申し上げます。

【3級審判員 反田 大翔】

今回は、審判経験が浅い中で初めて他県の研修会に参加させていただき、ピッチ内外で多くの学びを得ることができました。

実践研修では、1人の審判員に対して1名以上のインストラクターの方が付き、試合終了直後に評価をいただくことができたため、すぐに振り返りを行うことができました。

良かった点に加え、ゴールキック時のポジショニングや、AR側のペナルティエリア付近での動き方など、細部にわたるご指導をいただき、大変貴重な経験となりました。

夜の講義では、JFA 審判部長の秋江昌司様や、JFA 審判委員会委員長の扇谷健司様など、普段お会いすることができない方々から激励のお言葉をいただき、大きな刺激を受けました。

また、審判をするうえで欠かせない「競技規則」についても、アプリを用いたクイズ形式の学習や、他の審判員との出題し合いを通して、楽しみながら知識を深めることができました。

これまで審判経験が浅く、不安な気持ちもありましたが、インストラクターの方々や他県の審判員の皆さんから多くのことを吸収できたことで、試合を重ねるごとに自身の成長を実感し、自信を持つことができました。

今回の研修で学んだことを、今後のサッカー人生にしっかりと活かしてまいります。

最後になりますが、このような貴重な研修会に参加させていただけたことに、心より感謝申し上げます。

愛知県サッカー協会をはじめ、主催チームである愛知FCの皆様、そして茨城県サッカー協会の皆様、本当にありがとうございました。

